



新しい年が明け3学期がスタートして2週間が過ぎました。徐々に生活のリズムを取り戻し、子どもたちは勉強に運動に力いっぱい取り組んでいます。「新しい生活様式」をふまえ十分注意しながら、3学期も外部講師を招いた学習や体験活動を進めていきたいと考えています。それらの活動をとおして、自分から積極的に関わりをもち、学習に取り組んでほしいと思います。

寒暖の差があり体調を崩しやすい時期です。ご家庭におかれましては、引き続きお子さんの健康管理をお願いいたします。進級・進学を控えた子どもたちに、確かな力が身につくよう、教職員一同今後も支援を継続して参ります。

1月の教育活動

8日(金)、第3学期始業式でした。寒さとコロナ対策のため、校内放送で行いました。代表の子が冬休みの反省と3学期のめあてをしっかりと発表しました。校舎の中に元気な子どもたちの声に戻ってきました。



12日(火)、身体計測を行いました。子どもたちは身長も体重も増えて、ひとまわり大きく成長していました。3学期は、バランスのよい食事と適度な運動をして、寒さに負けず元気に過ごしてほしいと思います。



13(水)に国語、14(木)に算数と、市学力調査を実施しました。どの学年も最後まで真剣に取り組んでいました。1年生は初めての学力調査でしたが、先生の話をよく聞いて問題を解いていました。



15日(金)、3年生は社会科で警察署に見学に行く予定でしたが、コロナ対策のため、警察署の方に講師としてお出いただき、学習を進めました。子どもたちは積極的に質問していました。



18日(月)に4年生、19日(火)に3年生が、相馬地方森林組合の方を講師に招いて、森林環境教室を行いました。始めに、森林のもつ役割についての話を聞き、その後「組こぼこ」の作り方を教えてもらいながら、丁寧に仕上げることができました。



授業の挑戦



本校の主な研究

主体的・対話的で深い学びの実現
～ 伝えて つなげて 深めよう ～

3年 体育科の実践より
「体づくり運動」

中畑先生は、「高めたい体力を考え、様々な動きを身に付けるための運動に楽しみながら取り組む」をねらいに授業を組み立てました。子どもたちは、「パワー・柔らかさ・素早さ」のチームに分かれ、種目を選択し体力を高める運動に取り組ましました。きまりを守り互いに励まし合いながら運動を進めることで、楽しく活動できました。見通しをもたせ、選択の場を設けることで、子どもたちの意欲を引き出すことができました。

5年 体育科の実践より
「バスケットボール」

浅野先生は、「シュートを打つために必要となるボールを持たない動きを考え、ゲームで試すことができる」をねらいに授業を組み立てました。スキルアップタイムやドリルゲームを取り入れることで、子どもたちの基本的な技能を高めようとしていました。子どもたちは、ICT機器を活用して自分たちの動きを考え、チームの作戦に取り入れることで、ゲームに生かし楽しむことができていました。



3年 学級活動の実践より
「メディアとの付き合い方」

吉田先生・日下部先生は、「メディア使用による健康への悪影響を理解し、適切にメディアを使用していこうとする態度を育てる」をねらいに授業を組み立てました。事前に実施したメディア利用のアンケート結果をもとに生活を振り返らせ、メディアのよさと健康被害について考えさせました。子どもたちは、学習したことから具体的にどんなことに取り組んでいくか自分のめあてを立て、実践に繋げていました。



全国大会「STREAMチャレンジ」にエントリー

子どもたちは、総合の時間にプログラミングの学習をしています。6年生は「スクールチャレンジ南相馬大会」に参加し、自分たちが作ったプログラムを発表しました。コロナの影響で学校全体が落ち込んでいたと感じた子どもたちは「みんなを明るく元気にするペッパー」というテーマで取り組み、小学校の部で「最優秀賞」をいただくことができました。

さらに、内容を見直してよりよいものに仕上げ、Pepperの全国大会「STREAMチャレンジ」にエントリーしました。これは、ロボットと共生する社会に向けて、自ら発見した課題をPepperを活用した独創的な発想で解決することを目指すプログラミングコンテストです。審査結果は2月中にわかるようです。



八沢の光

今年は、丑年です。丑年生まれの人については、「努力家でマイペース」ということがよくいわれます。牛が草を食べる時しっかりと反芻するように、何事もじっくりと考えて、納得がいくまではなかなか動き出しません。その代わり、いったん意思が決まると他人の意見に惑わされることなく自分のペースで突き進んでいきます。温厚な性格で頭の回転が良く、面倒見の良い人が多いので、リーダーとして頼られることも多いですが、天狗になったりすることはありません。また、丑年は「我慢(耐える)」、「これから発展する前触れ(芽が出る)」というような年になるといわれています。まさに、これからよくなることの兆しの年なのかも知れません。この牛にあやかって、しっかり物事をとらえ、目標に向かって突き進む年にしていきたいものです。(文責:T)